

市政報告

仙台市議会議員
田村 勝

令和8年7月発行 VOL.41
電話番号 090-2275-3540
mas.tamura@icloud.com

ご意見・ご要望は
こちらにアクセスを！



任期、残り1年。ここからが勝負。

これまでの積み上げを、確かな結果へ！

任期も残すところ、あと1年となりましたーこれまでの活動を振り返る中で、あらためて感じているのは、「政治は結果で応えるもの」であるということです。市民の皆さまからいただいた声や期待に対し、ただ要望を伝えるだけでは何も変わりません。現場を歩き、課題を見つけ、調査を重ね、提案し、交渉し、そして実現へつなげる。その積み重ねこそが、まちを前に進める力になると確信しています。実際に、子どもの遊び場の整備や通学路の安全対策、水害対策の前進など、一つひとつ形にしていまいりました。しかし、まだ道半ばの課題も数多く残されています。残された1年を、これまで以上のスピードと覚悟をもって取り組み、結果で締めくくる決意です。引き続き、現場主義と民間感覚を大切に、市政を前へと動かしていまいります。

議論の結果は地域と共有。

議員って何してるの？とは言わせません！

議員が何をしているのか分からないーそう感じられる大きな理由は、報告が不足していることにあると考えています。本来、どのような仕事であっても、取り組んだ内容や結果を報告するのは当たり前のことです。しかし政治の世界では、その当たり前の感覚が十分に根付いていないのが実情です。だからこそ私は、議会で何を議論し、何が前進し、どのような課題が残っているのかを、市政報告として必ずお伝えすることを大切にしてきました。報告を続けることで、「実はこんなことで困っている」「こういう課題もある」と新たな相談が寄せられ、次の取り組みへとつながっていきます。この積み重ねこそが、政治を前に進める力になると感じています。手作りの報告書ではありますが、見た目よりも中身、何よりも情報を最優先に、これからも地域の皆さまへ確実に届けてまいります。

解決のために、立ち続けます。

今任期、全定例会で登壇しております！

今任期において、すべての定例会で登壇しておりますーそれは単に発言の機会を得るためではなく、課題を前に進めるために必要だと考えているからです。議会で登壇することで、当局と真剣な議論を交わすことができ、そのやり取りは議事録として残り、その積み重ねが次の議論へとつながり、政策を前進させる力になります。継続して議論を重ねることで、具体的な取り組みや方向性を引き出してきました。通学路の安全対策や水害対策なども、こうした積み重ねの中で前進してきたものです。これからも一つひとつの登壇に意味を持たせ、議論を深めながら、確実に成果へとつなげてまいります。

確かな追及力が、仙台を動かす。

地方メディアが報じた田村勝の仕事！

ハコモノ行政にメス 「金利100億円規模」の衝撃的な試算を提示！

音楽ホール整備事業に対し、将来世代が背負う利息負担を可視化。
田村勝「30年で利息100億円規模。この巨額負担を次世代に背負わせるのか？」
メディアの反応：華やかな計画の裏に隠れた財政リスクが大きく取り上げられました。

河北新報に掲載



環境・福祉の革新 縦割り打破！ごみ屋敷対策、解決への突破口！

長年、地域住民を悩ませてきた環境・福祉問題に対し、新体制の構築を提案。
田村勝：「局の垣根を超え、全庁横断での効果的なアプローチを」
メディアの反応：市が「対策会議」の設置を表明。「突破力」が評価されました。

河北新報・仙台放送等



防災・安全・安心 市民の安全を最優先！防災インフラ整備！

台風被災地の安全対策が、コスト高騰を理由に延期されたことに対し、住民の不安を代弁。
田村勝：「コスト高を理由に整備を延期することは、市民の安全確保の観点から妥当なのか」
メディアの反応：行政の不作為を逃さず突く「現場主義」の姿勢が、報じられました。

河北新報に掲載

文化・観光・経済 街に活気と笑顔！文化・観光提案！

令和7年干支にちなんだ話題性のある展示を八木山動物園へ。
田村勝：「干支にちなんだ話題性で、動物園の賑わい創出と教育機会の提供を」
メディアの反応：明るい話題作りでも市政に貢献する「柔軟な発想」が注目。

河北新報・ミヤテレ等



最近の市政報告

毎回議会終了後に新聞折込で配布

VOL.36 仙台港周辺の津波避難先不足 防災や子育て支援金の補正予算案を審議。東部自動車道を津波避難先として活用交渉の促進を	VOL.38 宮城野区東部(福地町)の水害対策 福地町エリアの水害対策、ポンプ増設などの具体的な改善計画。田子の田圃地帯における田んぼダム整備も。	VOL.39 仙台市の雨水整備水準の課題 特別自治市実現、豪雨対策、大型事業の財政影響を質問。雨水整備水準の再検討を求めるも、市ははばば置き判断。	VOL.40 ゴミ屋敷問題、新浜橋再検討開始 音楽ホール等の財政説明責任、防災マップ、ゴミ屋敷問題の対応などを質問。再発防止へ京都の事例を参考に庁内連携を提案。
---	---	---	--

※VOL37は記録的短時間豪雨に関する白鳥地域限定の報告です。